

■インド：ソフトバンク、太陽光発電でインドの大手インフラ開発企業と合弁

2018年5月28日付の報道によると、ソフトバンクグループのSB Energyは、太陽光発電所の建設について、インドのインフラ・金融企業IL&FSの子会社IL&FS Energyと提携する。両社は、2025年までにソーラーパークを計2,000万kW共同で開発することで合意した。SB Energyは、EPC（設計・調達・建設）と資金調達を行う一方、IL&FS Energyは変電所の建設と、系統接続や長期売電契約の締結に係る調整等を担当する。IL&FS Energyは、インドの大手発電事業者のひとつで、保有する発電設備容量は300万kW（内訳は火力と再エネが半々）、1,500万kWが開発中である。IL&FSにはオリックスが出資している。